

# 観世流 福岡能



能 弱法師 今村 一夫

狂言 鬼瓦 野村 万禄

能 紅葉狩 多久島法子



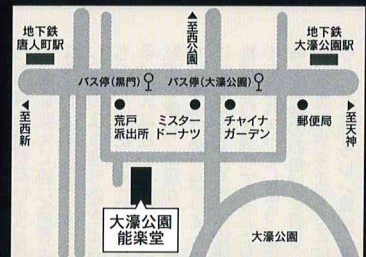
とき 平成27年 11月8日 (日) 正午開演

ところ 大濠公園能楽堂 福岡市中央区大濠公園1-5  
092(715)2155

主催 / 観世流 福岡能

前売 / 5,000円  
当日 / 6,000円

※場内での撮影、録画等は固くお断り致します。  
※場内では、時計のアラーム、携帯電話の電源は  
お切り下さいますようお願い申し上げます。



大濠公園能楽堂までのアクセス  
・地下鉄大濠公園駅又は唐人町駅下車徒歩7分  
・西鉄バス黒門、又は大濠公園下車徒歩5分

観世流 福岡能 平成二十七年十一月八日(日) 正午始 大濠公園能楽堂

仕舞

羽衣 山田 秀子
杜若 川原 桂子
籠太 今村 宮子
玉鬘 松田美栄子
葵上 菊本 美貴
通盛 久保誠一郎
小鍛冶 井内 政徳
蝉丸 山口剛一郎
善知鳥 今村 嘉伸

後徳丸 今村 一夫

弱法師

高安通俊 江崎欽次朗
高安通後の下人 野村 万禄

後見 多 久島法子
今村 宮子

地謡 木月 晶子
長宗 敦子
菊本 美貴 今村 嘉伸
澄代 久保誠一郎

白坂 信行
飯富 章宏
森田 徳和

休憩二十分

狂言

鬼

瓦

大名野村 万禄

太郎冠者 吉良

博靖

後見 宮永 優子

舞囃子

清経

武富 昭
飯富 章宏

白坂 信行
森田 徳和

仕舞

歌占 今村嘉太郎
松虫 山口 敏弘
井筒 多 久島利之
鐘之段 坂口 信男
善界 森本 哲郎

能

紅葉狩

侍女 菊本 澄代
侍女 長宗 敦子
侍女 木月 晶子
鬼女 多 久島法子

平糴盛 江崎欽次朗
大乃持 和田 英基
勢子 松本 義昭

白坂 保行
幸 正佳
吉谷 一彦

間

女 宮永 優子
武内ノ神 吉住 講

後見 井内 政徳
坂口 信男

地謡 川原 桂子
山田 秀子
松田美栄子 今村嘉太郎
菊本 美貴 山口剛一郎

附祝言

能「弱法師」

河内国高安の里の左衛門尉通俊(ワキ)は、人の讒言によつて二子俊徳丸を追い出したが、さすがに不憫に思い天王寺に詣り、俊徳丸のため七日間の施行を行なう。今日はその満参の日なので、従者(アヒ)に最後の施行を引かせる旨を触れさせる。そこに盲目の乞食が一人、杖を頼りに天王寺の石の鳥居に立ち寄る。よろよろとよるめき歩くところから弱法師とあだ名された乞食(シテ)である。これを見た通俊は、言葉をかけて、施し物を取らせる。言葉を変わしているうちに、この弱法師は身なりに似ず雅情豊かな少年だとわかる。弱法師は衣の袖に散りかかる梅の香に心を留め、やがて天王寺の曲舞を舞う。通俊がその様子をよくよく見ると、自分が追い出した俊徳丸である。悲嘆のあまりに盲目になつた子を不憫とは思つたが、人目もあり、夜に入つて父と名のり高安に連れて帰ろうと思ひ、それとなく日想観を拝ませる。俊徳丸は(舞台中央から橋掛りの方を見やり)盲目なるが故に心に映する様々な情景を語りあける。月落ちかかる淡路島山、曇りも波の淡路絵島、須磨磨石、そして紀の海。さらに春の落日に映える浦々の景色を讃嘆しつつ、舞い狂じる。日も沈み夜更となつて、通俊が父であることを明かすと、俊徳丸はあまりの恥すかしさに逃げ出すが、父は子の手を取つて、高安の里に帰つていく。

能「紅葉狩」

信濃国戸隠山の山中で、一人の上臈女房が(前シテ)が大勢の侍女(ウシ)とともに、木陰に暮をうち廻し、紅葉狩の宴を催している。そこへ平糴盛(ワキ)が、これも大勢の従者(ワキツリ)を引き連れ、鹿狩りにやつて来る。糴盛は山中での上臈の酒宴を不審に思ひながらも、宴を妨げないよう馬から下りて沓を脱ぎ、道を変えて通り過ぎようとする。上臈は呼びとめて酒宴に誘う。糴盛は一旦は辞退し、そのまま通り過ぎようとするが、情のこもつた女臈の言葉についはだされて酒席に入る。二人は互いに打ちとけて語り、糴盛は数盃を重ね、上臈が舞(中舞)を舞つているうち、夜風の吹きすさぶ山陰でうたたねをする糴盛一行を残して、女たちは物凄い勢いで山中に隠れ入つてしまふ。(中入)糴盛が、夢に八幡大菩薩のお告げを蒙り、驚いて目を覚ますと、不思議や今までそこになつた女どもが、とどりに恐ろしい鬼女(後シテ)の正体を現わし来襲する。糴盛は少しも睡がす。八幡大菩薩を心に念じながら、立ち向かいやすやすと討ち平げる。